



2017	5	3~4	<p>ステンレス鋼板（厚2.0mm×幅1030mm）をスリットする為、ライン通板作業を行おうとしていた。取合せ作業の為、鋼板を前作業終了後、シャーでカットしてあった。被災者Aは、刃物前まで鋼板を送り込んでおこうとペンダントスイッチを操作し鋼板を進めた。入側シャーの出側100mmの所にある、支えロール（Φ100）下に鋼板先端が潜り込み操作を止めた。被災者は、鋼板先端下部にダンボールを当てれば、支えロール下に鋼板先端が入らないと考え、左手でダンボールを持ち、右手でペンダントスイッチを操作し、鋼板を進めようとしたが、ペンダントスイッチを操作した瞬間に鋼板先端が支えロール下部から外れ跳ね上がり、ダンボールを持っていた左手の平側薬指付け根に鋼板先端角が接触し切創した。原因は、鋼板先端が下反りで支えロール下に潜り込んだ際に支えロール前テーブルの片側（WS）のネジが外れ脱落していたためと考えられる。通板作業時は鋼板先端をリールまで戻し、上反りにしてから通板する手順が守られていなかった。</p>	22	11209	6	50 ~ 99
2017	6	16~ 17	<p>自社工場内において、切断機にて鉄筋の切断作業中、材料詰まりがあったため手を入れて除去しようとした際、誤ってスイッチを入れてしまい、刃が落ちてくるところに左手小指を挟み負傷した。</p>	52	11209	7	10 ~ 29
2017	7	14~15	<p>倉庫内で非鉄と鉄を分別する作業中に、ダブリングで非鉄が回転したため、押さえた時に挟まれて負傷した。</p>	67	150102	7	1~ 9
2017	7	9~10	<p>本社工場内にあるシャーリング切断機を修理中、持っていたシリンダーが油で滑り、機械の凹凸部分で右手親指を切傷した。</p>	24	11009	8	10 ~ 29
2017	7	10~11	<p>社内でシャーリング加工中、人差し指を挟み負傷した。</p>	65	11009	7	10 ~ 29
			<p>工場内の、フォーミング2号機にて鋼板を送り出す作業中に、作業スピードを上げるため鋼板を奥から引っ張り出して送り出しをしよ</p>				

2017	7	18～ 19	うとし、切断刃のある機器の奥まで手を入れて指を負傷した。勤務初日であり、担当した機械への知識および危険意識が不十分であり、切断刃は手を入れた場所には無い（もう少し先にあり安全）と勘違いしたまま行動した。	42	170101	3	50 ～ 99
2017	7	15～ 16	当社工場内において、廃品の渦巻き状態のケーブル（太さ20mm）を1.5m程の長さにカットする作業中の災害である。被災者が小型シャーリングで数本まとめてカットしようとしたところ、グローブをしていた右手が滑り、誤って右手小指の爪の部分から先を切断した。	73	150103	8	1～ 9
2017	7	14～ 15	工場内にて、4mシャーリングで加工中、板押さえパッドが取れたので、機械を停止し取り付けたあと、寸動動作にて2～3回機械を動かし、取り付け確認を全員で見ていたときに、被災者が誤って右から1番目の板押さえに左手を差し出したため、板押さえにより左手中指が機械に挟まり受傷した。なお、そのときに軍手は着用していた。	24	11009	7	50 ～ 99
2017	9	8～9	第一工場（A-8）で、ステンレス板（縦1160mm×横58mm×厚1.5mm）を縦10cm毎に切断作業中に、残り短くなった板を切断する為に、内側にある板を抑える部品の認識もなく安全カバーと板の隙間が7mm程度あったため、板を抑えるために手を入れた。板を抑える部品と板に右手中指先端が挟まれた。	48	170101	7	300 ～ 499
2017	9	8～9	工場内において、シャーリングでステンレス板を10cm毎に切断作業中に、残り短くなった板を切断する為に、安全カバーの内側にある板おさえに指を入れてしまい、右手中指先端を挟んでしまった。	48	11301	8	50 ～ 99
2017	9	16～ 17	当社工場内で、シャーにて鉄板の切断するため切断寸法を合わせる作業中、誤ってフットスイッチを踏み鉄板ずれ止め部分で挟まれた。（左手第2、第3指）骨折対策としてフットスイッチをシャー台の上に上げ誤って踏まないようにした。	64	30201	7	1～ 9

2017	9	8~9	工場内に於いて、シャーリングで切断作業をしている時、機械を止めたつもりが、止まっていないのに不注意で手を入れてしまった。	36	150102	7	1~ 9
2017	11	9~ 10	鉄板を切断する機械で左小指を挟み切断してしまった。鉄板を切断する機械は足踏み操作で、鉄板を固定して切断する。鉄板を固定する時に間違っ小指を挟んだまま切断してしまった。	21	11209	7	1~ 9
2017	11	10~ 11	シャーリングで鉄板の切断加工中、誤って左手を刃物に近づけてしまい左手中指を刃物にて負傷した。	69	11301	7	1~ 9
2017	11	15~ 16	当社工作作業場において、鉄板を製品化するための作業中、右手の手袋がシャーリングマシンに引っ掛かり、右手薬指を負傷する。	62	11209	8	1~ 9
2017	12	11~12	工場内にてシャーリング（鋼板裁断機）の作業をしていたところ、加工中の鋼板に手を添えていたため、裁断の際に鋼板がバウンドして鋼板とシャーリングの盤上に左手親指を挟み、先端を負傷した。	37	11209	7	30 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)